



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市亀田総合体育館
 試合区分：少女女子 決勝
 開催期日：2009年10月5日(月)
 開始時間：10:00

GAME No. 1005G1

主審：大野 健男
 副審：久米 克弥

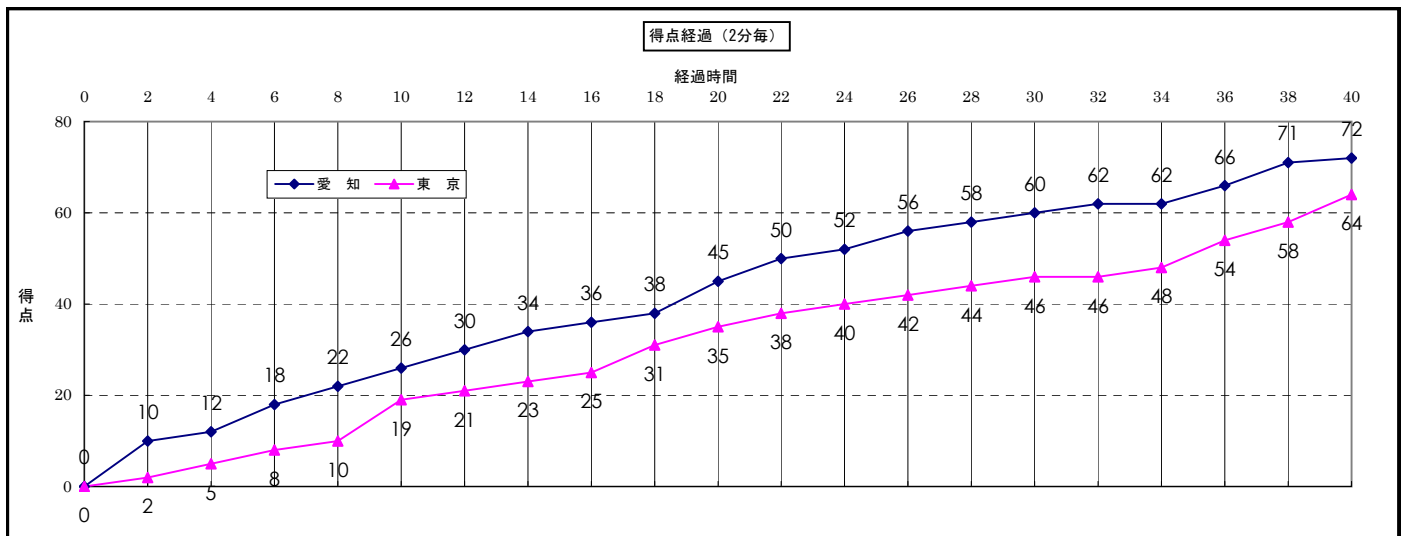
Team A	○	26 -1st- 19 19 -2nd- 16 15 -3rd- 11 12 -4th- 18	●	Team B
愛知	72		64	東京

TEAM A		愛知					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	本多 真実	10	0	4	2	2
5	*	水島 沙紀	5	1	1	0	5
6	*	大西ムーア・ダイアンまどか	8	0	4	0	3
7		村瀬 瞳子	0	0	0	0	0
8		菅原 絵梨奈	-	-	-	-	-
9		木原 芳	-	-	-	-	-
10		外山 優子	0	0	0	0	2
11	*	岡本 彩也花	19	2	5	3	2
12		石黒 加奈	-	-	-	-	-
13		ヒル 理奈	0	0	0	0	1
14		白 慶花	-	-	-	-	-
15	*	渡嘉敷 来夢	30	0	12	6	0
Coach		井上 眞一	-	-	-	-	0
TOTAL			72	3	26	11	15

TEAM B		東京					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	金子 実由紀	10	2	1	2	1
5	*	山本 千夏	21	0	7	7	2
6	*	篠原 恵	11	0	5	1	4
7		丸山 菜摘	-	-	-	-	-
8		星野 彩夏	3	1	0	0	2
9		大滝 知子	-	-	-	-	-
10	*	佐藤 茜	0	0	0	0	3
11		張 静	0	0	0	0	0
12		藤木 茜	2	0	1	0	0
13		石原 愛子	6	0	3	0	0
14	*	森 木乃美	4	0	2	0	4
15		根岸 夢	7	0	3	1	1
Coach		下坂 須美子	-	-	-	-	0
TOTAL			64	3	22	11	17

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	4:56	-	29:24	33:47		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

決勝戦は、連覇のかかる東京と、2年ぶりの優勝をねらう愛知の対決となった。
 1Q, 両チーム、マンツーマンディフェンスで始まる。愛知は#15渡嘉敷のゴール下シュートが連続で決まり、ペースをつかむ。東京は、インサイドにボールが回らず、#4金子の3Pシュートなどアウトサイド中心に攻める。愛知は#15渡嘉敷の1対1、#11岡本のドライブで得点を重ねる。残り1秒、エンドラインからのスローインで東京#15根岸がバスケットカウントを決め、7点差にして1Qを終える。
 2Q, 開始2分、東京は#6篠原の連続ジャンプシュートで流れをつかみかけたが、愛知は#15渡嘉敷のゴール下シュートで着実に加点し、流れを引き戻す。開始5分、愛知のタイムアウト後、東京はリバウンドを頑張る、#5山本の1対1で点差を詰める。しかし、終了間際、愛知#11岡本が距離のある3Pシュートを決め、点差を10に広げて45-35で前半を終了する。
 3Q, 東京はリバウンドを取るが、愛知の厳しいディフェンスの前にシュートを決めることができない。一方の愛知は、#15渡嘉敷のゴール下シュートで得点を伸ばす。東京は、#13石原の連続ジャンプシュートなどで食い下がるも、愛知はリードを14点に広げ、60-46で3Qを終了する。
 4Q, 東京#6篠原が愛知#15渡嘉敷を抑え、得点させない。しかし、オフェンスは#13石原のシュートにことどまり、点差は縮まらない。開始4分に愛知がタイムアウトをとった後、流れを変えたい東京はオールコートマンツーマンにディフェンスを変える。東京は、愛知に得点を許すものの、#5山本の1対1で点差を詰める。さらに、#12藤木のスティールで8点差にするが、ここでタイムアップ。終始リードした愛知が72-64で2年ぶり20回目の優勝を決めた。

記載責任者 青木 茂雄 (所属) 新潟県バスケットボール協会